

2016年8月1日
イオン株式会社
イオンモール株式会社

「地域エコシステム」が生み出す新たな顧客体験 日本初導入の無人運転バス「Robot Shuttle」試験運行開始

8月1日(月)よりイオンモール幕張新都心隣接の「豊砂公園」でスタート

イオンは8月1日(月)～8月11日(木)の期間、イオンモール幕張新都心に隣接し、イオンモール株式会社が千葉市から管理の一部を委託されている豊砂公園の敷地内において、無人運転バス「Robot Shuttle (ロボットシャトル)」を試験運転いたします。

本取り組みは、「地域エコシステム」の柱の一つである「地域内の交通や移動の進化」の一環として実施するもので、「Robot Shuttle」は、EasyMile 社開発の自動運転車両「EZ10」を利用した交通システムです。国内最初の事例として、イオンモール幕張新都心で「Robot Shuttle」サービスの試験導入いたします。

イオンは、地域の皆さまや行政、企業など様々なメンバーと一体となった地域発展の新しい枠組み「地域エコシステム」の構築に取り組んでいます。

また、イオンモール株式会社は、新たな暮らしを創造するディベロッパーとして、より便利で、より快適なショッピングモールを実現するため、進化する最新テクノロジー技術を導入し、新しいショッピング体験創造を目指す、デジタルイノベーション活動を推進しています。

今後も、千葉市幕張・稲毛地区における「地域エコシステム」では、様々な取り組みの実験・検証を行い、千葉市「未来都市実証特区」の新しい取り組みに関しても積極的に参加し、地域社会の発展に寄与してまいります。

<無人運転バス「Robot Shuttle」試験運転概要>

・運行日時：8月1日(月)～8月11日(木) 10:00～17:00

* 8月6日(土)は、花火大会のため運行は休止

テスト走行の状況や、天候によっては、運行休止の可能性あり。

・場所：「豊砂公園」 (千葉県美浜区美浜区豊砂1-12)

・利用料金：おとな200円、子ども(小学生以下)100円 ※2歳未満無料

(WAON POINTカードのご提示で10WAON POINTプレゼント)

「Robot Shuttle」



◆「地域エコシステム」とは

「エコシステム (ecosystem)」とは「生態系」を意味する言葉であり、「地域」という生態系の中にある複数の企業や様々なプレイヤーが関わり合い、つなぎあい、ひとつになって共に創り上げ、循環しながら広く共存共栄し成長していく仕組みを「地域エコシステム」としています。

「地域エコシステム」は、イオンの基本理念の一つである「小売業は地域産業」という考えのもと、デジタル時代における地域の皆さまの新しい価値観に応える新しい地域発展の枠組みです。

地域と地域の皆さまそれぞれの「期待」に応え、「負」を解消するための生活プラットフォームを行政や企業の垣根を越えた「共創」により構築します。

＜地域エコシステムが生み出す新しい顧客体験として4つの取り組み＞

- ① デジタルゼーション：デジタルゼーションによるストレスフリーな体験・生活
- ② モビリティ：地域内の交通、移動の進化
- ③ ヘルス&ウエルネス：身も心も豊かに暮らせるまちづくり
- ④ バリュー：地域経済・価値の拡大と還流

＜地域エコシステムのメンバー＞

「地域をよくしたい」と願う共通の志を持ったメンバーとイオンが、対等かつオープンなコミュニティを形成・協業し、「地域エコシステム」の構築に取り組みます。



「地域エコシステム」の第1弾展開エリアとして、本年6月より千葉市でスタートしています。

千葉市幕張・稲毛地区において実験・検証を行い、市域全域まで広げていきます。千葉市が進める未来都市実証特区での様々な新しい取り組みに関しても積極的に参加していきます。

「地域エコシステム」専用ホームページにてイメージ動画を公開しております

URL: <http://www.chiiki-ecosystem.jp>

※株式会社株式会社ディー・エヌ・エー2016年7月7日プレスリリースより

RS Robot Shuttle

「Robot Shuttle」は、EasyMile 社開発の自動運転車両「EZ10」を利用した交通システムです。最大12名が乗車できる車両は電気自動車で、運転席はなく予め作成した地図データ上に設定したルート上をカメラ、各種センサー、GPS を用いて自車両の場所を測定しながら自動で走行します。自車両の近くやルート上に障害物を検知した場合はその障害物との距離に応じて自動的に減速・停車をすることで危険を回避します。現状、日本国内では私有地のみ走行が可能なため、各種公共施設・商業施設・テーマパーク・工場などの内部における運用を想定しています。

最初の事例として、2016年8月にイオンモール株式会社による「Robot Shuttle」サービスの試験導入があります。イオンモール幕張新都心に隣接し同社が千葉市から管理の一部を委託されている豊砂公園の敷地内において、同店のお客さま向けの運営を行います。

イオンモール株式会社をはじめとするイオングループは地域・行政・企業などと協働で地域ごとに「地域エコシステム」の構築を推進しています。その柱の一つとなるテーマ「地域内の交通や移動の進化」の一環として、今回の試験導入は位置づけられています。

※EasyMile 社について

EasyMile 社は、フランスの小型車製造メーカーで過去には F1 参戦の経験もある LIGIER group と、フランス国立情報学自動制御研究所を母体とするロボット技術開発企業の Robosoft により 2014 年に設立された合併会社です

【EZ10 概要】



名称 EZ10

車両サイズ 全長 3,928 mm、全幅 1,986mm、全高 2,750mm、重量 1,750kg

最小回転半径 4.5m

駆動方式 電動アクチュエーター 4 輪駆動 最大 10 時間駆動

車体素材 フレームおよびシャーシ：アルミニウム ボディ：ファイバーグラス

最大速度 40km/h

乗車定員 最大 12 名（着席 6 名、立ち乗り 6 名）車椅子の乗車も可能

その他の装備 ・エアコン

・管制室と通話可能なインターカム

・乗降用の可動式スロープ